

中学校の様子について



浜松市立浜北中部中学校
山下憲一（平17卒）

私は小学校から野球を始め日体大硬式野球部に所属し大学を卒業しました。大学卒業後、中学校・高校の保健体育の講師の空きがなく、臨時免許で小学校の講師として働きはじめました。そして、通信教育で小学校の免許を取得し、小学校の教員採用試験を受験して合格することができました。小学校で四年間勤め、その後、中学校へ異動し、五年間保健体育科の教師として勤めています。



振り返ると私が今、学校の教育現場で指導できるのは多くの日体大の先輩方の支えやご指導があったからです。

初任校の三方原小学校では、先輩である神谷昇吾先生が初任者の私に授業指導や小学校の部活動指導など丁寧に指導してくださいました。そして、異動した浜北中部中学校でも川合達彦先輩と中村七生先輩の二人の先輩がおり、はじめの中学校現場で分からない私に、中学校の授業指導や生徒指導・部活動指導について分かりやすく指導してくださいました。また、ソフトボール部の顧問をすることになり、専門外の部活動指導で困っていた私に、ソフトボール部の顧問で活躍されている石島正巳先輩から指導方法について教えていただき助けられました。



中学校のソフトボール部の顧問として五年目となりました。生徒達のおかげで、顧問として東海大会二回・全国大会一回を経験することができました。今年の新人戦も県準優勝することができ、三月に行われた東海大会に出場しました。顧問として五年間、生徒達と活動してきて、たくさんの感動する場面と出会うことができました。試合に勝って喜ぶことはもちろんありますが、一番顧問をしてうれしいことは、今までできなかったことが、練習にひたむきに努力することによって、できるようになった生徒の成長した姿を見ることです。顧問をしていて、生徒達が成長し続けるのを身近で感じられることは、中学校部活動の顧問の魅力の一つだと思います。

他にも多くの日体大の先輩方の支えがあって今があると実感しています。そんな中、私は現在、浜北中部

また、五年間、自分が顧問をしていて意識していることは、生徒が上手くできたときに生徒を認めて褒めてあげることです。生徒のちょっとした変化に



も気づくことができるように、しっかりと見届けることを意識してきました。技術指導が未熟な私にできることは、そのことだと考え指導してきました。今までできなかったことができるようになり、それを褒めた時の生徒のうれしそうな表情と一緒に頑張って練習してきてよかったと心から思える瞬間です。これからも、生徒達の成長を見守り、声を掛けて行き、伸ばしていきたいように指導して行きたいです。そして生徒と共に成長できるように常に向上心を持ち、日体大で学んだ気持ちを忘れず生活して行きたいと思っています。